We create chemistry

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

品名:
Axar® SC
アクサーフロアブル

用途: 農薬製品, 殺菌剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:
BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:
電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のＧＨＳ分類】:
生殖毒性: 区分授乳に対するまたは授乳を介した影響
水生環境有害性　短期(急性): 区分2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分1

【ＧＨＳラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
警告

危険有害性情報:

H362	授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H401	水生生物に毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（安全対策）:

P260	粉じん／ミストを吸入しないこと。
P263	妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P391	漏出物を回収すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

ＧＨＳ分類に関係しない又は ＧＨＳで扱われない他の危険有害性:
12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。 この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

アレルギー反応を起こす可能性がある。含有物：
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン,1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺菌剤, 懸濁液 (SC)

ＧＨＳ分類に寄与する成分

3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)

含有量 (W/W): 6.98 %
CAS RN: 907204-31-3

生殖毒性.: 区分 (追加) : 授乳に対するまたは授乳を介した影響
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 1
M-ファクター慢性: 1

1H-1,2,4-Triazole,
1-[[2-[2-chloro-4-(4-chlorophenoxy)phenyl]-4-methyl-1,3-dioxolan-2-yl]methyl]-

含有量 (W/W): 4.81 %
CAS RN: 119446-68-3
労働安全衛生法: 8-(3)-795

急性毒性: 区分 4 (経口)
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A
発がん性: 区分 2
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 10
M-ファクター慢性: 10

プロピレンオキシド・エチレンオキシド重合物のモノ2-プロピルヘプチルエーテル

含有量 (W/W): < 5 %
CAS RN: 166736-08-9

急性毒性: 区分 4 (経口)
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
水生環境有害性　短期(急性): 区分 3

ヒドロキシベンゼンスルホン酸・ホルムアルデヒド・フェノール・尿素重縮合物のナトリウム塩

含有量 (W/W): < 5 %
CAS RN: 102980-04-1

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A
水生環境有害性　短期(急性): 区分 3
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 3

1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン

含有量 (W/W): < 0.01 %
CAS RN: 2634-33-5
化審法: (9)-1845
労働安全衛生法: (9)-1845

急性毒性: 区分 2 (吸入 - 粉塵)
急性毒性: 区分 4 (経口)
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1A
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 1
M-ファクター慢性: 1

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン

含有量 (W/W): < 0.01 %
CAS RN: 2682-20-4
化審法: (5)-5235
労働安全衛生法: (5)-5235

急性毒性: 区分 2 (吸入 - 粉塵)
急性毒性: 区分 3 (経口)
急性毒性: 区分 3 (経皮)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1B
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1A
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 10
M-ファクター慢性: 1

プロパン-1,2-ジオール
含有量 (W/W): < 10 %
CAS RN: 57-55-6
労働安全衛生法: (2)-234

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:
直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。, (他の)症状や影響については現時点で知られていない。
危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄･機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
粉末, 泡, 噴霧水, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:
一酸化炭素, 二酸化炭素, 塩化水素, フッ化水素, 窒素酸化物, ハロゲン化合物, 硫黄酸化物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:
汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。 火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。 火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:
土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
小量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する（例：砂、おが屑、珪藻土）。
大量の場合: せき止める。 ポンプで容器に回収する。
法令に従って吸着剤を廃棄すること。 廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。 水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。 適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。 作業場の換気を十分に行う。 使用時には飲食または喫煙をしないこと。 休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:
注意事項は特になし。 不燃性である。 爆発性なし。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。 直射日光を避ける。

保管安定性:
保管期間: 60 月

次の温度以下にならないように保護すること : 5 ° C
長期にわたり安定貯蔵温度以下で保管すると、変質することがある。

次の温度以上にならないように保護すること : 30 ° C
もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

フルキサピロキサド, 907204-31-3;
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 mg/m3 (BASF recomm. occupational exposure limit)

【保護具】

[呼吸用保護具]:
高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具 : 有機、無機、無機酸及びアルカリ性化合物のガス/蒸気用複合フィルター(例 : EN14387タイプABEK)

[手の保護具]:
長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm) 、クロロプレンゴム (0.5 mm) 、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:
サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合はEN 14605に準拠、飛沫の場合はEN ISO 13982に準拠。) 。

[一般的な安全及び衛生対策]:
最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	オフホワイト色
臭い:	芳香臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 6 - 8 (22 ° C)
融点:	約 0 ° C 情報は溶媒に適用される

沸点:	約 100 ° C 情報は溶媒に適用される	
引火点:	不燃性である。	
蒸発率:	適用せず	
可燃性 (固体/ガス):	適用せず	
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
自然発火温度:	460 ° C	(DIN EN 14522)
熱分解:	約 140 ° C , 20 kJ/kg （開始温度）	(DSC (OECD 113))
	約 275 ° C , 80 kJ/kg （開始温度）	(DSC (OECD 113))
	国連輸送規則クラス4.1に従い、自己分解性物質ではない。	
SADT:	> 75 ° C	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	約 23.4 hPa (20 ° C) 情報は溶媒に適用される	
密度:	約 1.07 g/cm3 (20 ° C)	
相対ガス密度（空気）:	適用せず	
水に対する溶解性:	分散可能	
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:	本記述は、各成分の特性に基づくものである。	

記載物質に関する情報 : 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) : 4.4
(25 ° C)

粘度: 約 48 mPa.s
(20 ° C)

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

粒子特性

粒度分布: 物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第 7 項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 約 140 ° C,20 kJ/kg (DSC (OECD 113))
(開始温度)

熱分解: 約 275 ° C,80 kJ/kg (DSC (OECD 113))
(開始温度)

熱分解: 国連輸送規則クラス4.1に従い、自己分解性物質ではない。

[混触危険物質]:
強酸化剤, 強塩基, 強酸

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50（半数致死量）ラット (経口): > 2,000 mg/kg
死亡なし

急性吸入毒性

LC50（半数致死濃度） ラット (吸入による): > 3.54 mg/l
死亡なし 技術的に達成可能な最高濃度。 エアゾールで試験した。

急性皮膚毒性

LD50（半数致死量） ラット (経皮): > 5,000 mg/kg
死亡なし

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。 吸入による毒性は実質上なし。 単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。 (他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
眼及び皮膚に対して刺激性なし。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
感作性なし

実験または計算によるデータ:
マウス: 感作性なし (OECDテストガイドライン 429)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
発がん性の評価:
動物実験で発癌作用の徴候が認められている。 この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
発がん性の評価:
がんを引き起こす恐れがある。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
生殖毒性の評価:
動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。 授乳を通じて子供に害を及ぼす可能性がある。

発生毒性

催奇形性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
反復投与毒性の評価:
動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

誤えん有害性

適用せず

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に毒性。 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度） (96 h) 3.48 mg/l, コイ（学名：Cyprinus carpio）

水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 22.2 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

水生植物:
EC50 (72 h) 6.59 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

無影響濃度 (72 h) 0.95 mg/l, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
魚類に対する慢性毒性:
無影響濃度 (33 日) 0.0359 mg/l, ファットヘッドミノー（学名：） Pimephales (OECDテストガイドライン 210, 流水式)

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
魚類に対する慢性毒性:
EC10（10%影響濃度） (34 日) 0.01298 mg/l, ファットヘッドミノー（学名：） Pimephales
---

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日),0.5 mg/l,オオミジンコ （学名：Daphnia magna） (OECDテストガイドライン 211, 半止水式)

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日),0.0078 mg/l,オオミジンコ （学名：Daphnia magna）

無影響濃度 (28 日),0.00572 mg/l,ミシッドシュリンプ（学名：Mysidopsis bah

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
環境区分間の輸送評価:
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
環境区分間の輸送評価:
土壌中で、低移動性。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
容易に生分解性されない（OECD基準による）

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
容易に生分解性されない（OECD基準による）

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1- [2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(ジフェノコナゾール)
生体蓄積性の可能性評価:
n-オクタノール／水の分配係数（log Pow)より、生体への蓄積性があると考えられる。

記載物質に関する情報： 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(フルキサピロキサド)
生体蓄積性:
生物濃縮係数: 36 - 37 (28 日), ブルーギル（学名：Lepomis macrochirus） (OECD-Guideline 305)
生物体内に蓄積しない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)(FLUXAPYROXAD, ジフェノコナゾール)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM
容器等級:	III
環境有害性:	該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送		**Sea transport**	
IMDG		IMDG	
国連番号もしくはID番号:	UN 3082	UN number or ID number:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(液	UN proper shipping	ENVIRONMENTA

	体)(他に品名が明示されているものを除く。)(FLUXAPYROXAD, ジフェノコナゾール)	name:	LLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (FLUXAPYROXAD, DIFENOCONAZOLE)
国連分類(輸送における危険有害性クラス):	9, EHSM	Transport hazard class(es):	9, EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当 海洋汚染物質: 該当	Environmental hazards:	yes Marine pollutant: YES
使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-F	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-F

航空輸送
IATA/ICAO

Air transport
IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号:	UN 3082	UN number or ID number:	UN 3082
品名 (国連輸送名):	環境有害性物質(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)(FLUXAPYROXAD, ジフェノコナゾール)	UN proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (FLUXAPYROXAD, DIFENOCONAZOLE)
国連分類(輸送における危険有害性クラス):	9, EHSM	Transport hazard class(es):	9, EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当	Environmental hazards:	yes
使用者への特別注意事項:	知見なし	Special precautions for user:	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送

海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 171

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]
5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。
ADR、RID、ADN：特別規定375;
JT/T617.3;

IMDG : 2.10.2.7;
IATA : A197;
TDG : 特別規定99 (2) ;
49CFR: セクション171.4 (c) (2)

15. 適用法令

消防法: 非危険物

プロパン-1,2-ジオール
労働安全衛生法
表示対象物

プロパン-1,2-ジオール
プロピレンオキシド・エチレンオキシド重合物のモノ2-プロピルヘプチルエーテル
化審法
優先評価化学物質

プロパン-1,2-ジオール
労働安全衛生法
通知対象物

ジフェノコナゾール
労働安全衛生法
通知対象物

ジフェノコナゾール
労働安全衛生法
表示対象物

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称
ジフェノコナゾール	4.8	第1種指定化学物質, 96	１－［［２－［２－クロロ－４－（４－クロロフェノキシ）フェニル］－４－メチル－１，３－ジオキソラン－２－イル］メチル］－１Ｈ－１，２，４－トリアゾール

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

農薬取締法：登録番号　第２４１８３号

中毒の緊急問合せ先：公益財団法人 日本中毒情報センター；072-727-2499(一般市民向け受信相談(情報料無料)(大阪))，072-726-9923(医療機関専用有料電話(1件につき2,000円)(大阪))，029-852-9999(一般市民向け受信相談(情報料無料)(つくば))，029-851-9999(医療機関専用有料電話(1件につき2,000円)(つくば))

【JIS Z 7252/7253： 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。